

## 一般社団法人大学コンソーシアム熊本第33回理事会 議事録

- 1 開催日時 令和4年1月31日(月) 16時00分～17時30分
- 2 開催場所 オンライン会議 (Zoomによる)
- 3 出席者 代表理事(会長) 小川 久雄 熊本大学長  
代表理事(副会長) 中山 峰男 崇城大学長  
代表理事(副会長) 竹屋 元裕 熊本保健科学大学長  
理事 細江 守紀 熊本学園大学長  
理事 半藤 英明 熊本県立大学長  
理事 甲斐 広文 熊本大学副学長  
監事 尾原 祐三 熊本県立技術短期大学校長  
  
欠席者 監事 山縣 ゆり子 尚絅大学・尚絅大学短期大学部学長

### 4 開 会

#### (1) 開会

事務局(松村事務局長)から、本日の理事会に現在の理事6名中6名(監事1名出席)の出席により、定款第32条に定める定足数(理事現在数の過半数)を満たし、理事会が成立したことを宣言した。

#### (2) 会長(議長)挨拶

会長(議長:小川学長)からの挨拶のあと、本日の理事会は、①規則改正について、②令和4年度の運営体制について、③大学コンソーシアム熊本令和3年度成果報告会の開催について、が主な議題であることが宣言された。

#### (3) 議事録の確認及び議事録署名人の指定

資料1の一般社団法人大学コンソーシアム熊本第32回理事会議事録に議事録署名人として当日ご出席いただいた代表理事、理事、監事全員の署名捺印を頂いたことの確認及び報告のあと、定款第33条及び理事会運営規則第12条の定めにより、本日の議事録署名人は小川代表理事(会長)及び尾原監事が行うことの説明があった。

### 5 理事会議事

#### 第1号議案 規則改正について

事務局長から、資料2-1から資料2-11に基づき、今回の規則改正の説明があり、資料2-1の「大学コンソーシアム熊本における施設・設備等の共同利用に関する取決め(案)」については、今回、九州ルーテル学院大学から共同利用可能な施設追加の依頼に基づくもの、資料2-2～資料2-11までの規則については、コンソを法人化する際に制定したものであるが、今般、事務局で確認したところ、誤字や文章の使い方におかしいものがあり、今回、修正をお願いするものであり、規則の趣旨や内容を変更するものではない旨の説明があった。

審議の結果、資料2-1～資料2-11の規則改正(案)は承認された。

#### 第2号議案 令和4年度の運営体制について

議長から、資料3に基づき、役員体制については、今年度と同様の体制にてお願いしたいと考えていること、なお、熊本県立大学の半藤理事におかれては、学長の任期が3月末までとお伺いしており、後任の理事については社員総会で選任することになっているため、5月末の社員総会までは引き続き半藤学長に理事をお引き受けいただき、5月末の社員総会において、4月から熊本県立大学の学長にご就任予定の堤先生に理事就任を承認いただければと考えているとの説明と提案があった。

次いで、議長から半藤理事に意見を求め、提案通りで構わないとの意見があり、審議の結果、令和4年度の役員体制については承認され、5月の社員総会において提案することが承認された。

なお、堤先生には、半藤理事から、理事の就任について依頼することになった。

次いで、事務局長から、資料4に基づき、令和4年度の事務局体制について説明があり、審議の結果、来年度の事務局体制について特に異論はなく事務局提案どおり承認された。

その後、議長から、補足説明として、大学経営が厳しい中で職員をコンソに出向いただくことは大変かと思うが、しかしながら、事務局においても今年からは新たな事業にも取り組んでおり、先週28日には、初めての試みとして、中国の高校生とオンラインで結んだ「留学フェア」も実施された。また、単位互換に関しても、現在、熊本大学の宇佐川理事を座長にお願いし検討いただいております、この結果いかんではますます新たな業務が増えることも予想されるので、引き続き事務局運営にもご協力いただきたい旨の発言があった。

### 第3号議案 大学コンソーシアム熊本令和3年度成果発表会の開催について

議長から、大学コンソーシアム熊本令和3年度成果発表会の開催については、昨年9月に開催された企画・運営委員会において了承された旨の説明の後、引き続き、事務局長から、資料5に基づき、コンソーシアムの活動状況の報告会の開催については、私立大学等改革総合支援事業の設問項目となっており、そのために開催する意味合いがあることは間違いないが、それ以上に、当コンソが一般社団法人として、地域社会の教育・文化等の向上、発展に貢献し、その成果・実績を市民の皆様にも認知いただき、コンソに対する支援や協力につなげることが重要である。成果報告会の詳細な内容はまだ、決定しているわけではないが、コンソの中期計画の説明や今年度のコンソの活動の報告が中心になること、また、今年度はオンラインでの開催としていることの説明があった。また、本日、開催について了承いただければ、至急日程調整の照会を行い、理事の皆様には出来る限り参加願いたいとの依頼があった。

審議の結果、大学コンソーシアム熊本令和3年度成果発表会の開催については承認され、次いで議長より、発表会の次第、内容については、事務局と会長に御一任いただきたいこと、事務局により、詳細が決まり次第、各理事の他各機関に周知いただきたいことの依頼があった。

### 第4号議案 その他

特になし

## 6 理事会報告

### 第1号報告 令和3年度各部会の実施事業について

事務局長から、資料6に基づき、今年度の活動について、中期計画の達成目標と今年度の活動指標と対比させて説明するためにこのような資料としたこと、この資料については、3月の理事会で今年度の活動に関する評価を行う際にも使用するものであること、コロナ禍によりほぼ事業ができなかった昨年度とは異なり、今年度はコロナ禍の中でどう事業を進めるかということで、加盟各機関のご協力を頂きながら

事業を実施したこと、本日、紹介できない項目については資料によりご確認いただきたいことの説明の後、今年度実施した活動の報告があった。

## 第2号報告 令和3年度予算の執行状況について

事務局長から、資料7（支出予算ベース）に基づき、今年度予算の令和4年1月18日現在での執行状況について以下のとおり報告があった。

- 1) 「管理費」は予算に対し、ほぼ同額か若干余る程度の見込み。
- 2) 「企画・運営委員会」は、年度当初は予算建てしていなかった「教育のあり方に関する協議会」で謝金が発生したので、その分が支出超過となる。
- 3) 「学生教育部会」は、部会全体の予算としては50万円程度残る見込み。これは学生交流推進事業とインターンシップ推進事業がすべてオンラインでの実施となったので、その関係で残が出ている。

- 4) 「国際交流部会」は、50万円程度の赤字になる見込み。これは、コロナ感染症の関係で令和2年度が殆ど事業ができなかった関係もあって、令和3年度当初予算は、令和2年度の675万円から639万に予算を削減した。しかし、本来であれば、今年度の事業を立てる際、予め昨年度実施できなかった分の事業を今年度を実施するとして事業計画を立てるべきであったが、昨年度からさらに予算を削減してしまい、結果的に事業計画の精査が不足していた。

また、国際交流事業に関しては、管理的経費を含め、熊本県・熊本市様から250万ずつの補助金とコンソの予算250万円とで、事業を進めていくことになっている。その辺の検討が不足していた。事務局長としてお詫び申し上げる。

なお、昨年5月に開催した、社員総会の席上において、私のほうから、事業・イベントを実施するようになれば当初予算が不足する可能性もあり、そのような状況になった際は、予備費から支出する旨説明させていただき、了承を頂いていた。

新型コロナの感染状況にもよるが、今年度末まで留学生のための支援事業を計画しているところである。

また、多言語による情報発信については、英語版、中国語版、韓国語版をリニューアルしたが、その分の経費が当初の見込み以上に掛かったのが主な理由である。

- 5) 「地域創造部会」については、今年度から新規事業として開始した「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」に係る経費について、実際どのくらいの経費が掛かるのか予測が難しく、外部の方を1日拘束して審査をお願いしたので、そのための謝金や報告書の作成に経費が掛かった。但し、地域創造部会全体ではなんとか予算内におさまるのではないかと考えている。

- 6) 免許更新講習・教員養成等事業部会については、更新講習の管理システムと受講料の代行システムの利用料で、一旦コンソで支払った上で、同額を各大学にご負担いただくもので、受講生数が増えればその分収入・支出とも増加し、受講生数が減少すれば、その分の収入・支出とも連動して減少するものである。年度当初の計画と比較して、コロナ禍の関係と来年度途中での免許更新講習自体が廃止される関係もあってか、受講生数が思うように伸びず、支出としては予算額より少なくなっている。

下から2行目の欄の金額には銀行利息等が少し含まれているため、教員免許状更新講習の過不足額とは一致しないが、見ていただければわかるように、当初見込みと比較して収入が64万円程度少なくなっている。教員免許状更新講習に係る経費については、最終的には収入額と支出額とは同額で決算をすることになるの

で、予算が決して余っている訳ではないということをご理解いただけるかと思う。

- 7) 投資活動については年度当初は予算建てしていなかったが、コンソの会議が殆どオンラインに変わったこと、また、先程ご説明させていただいた政策アイデアコンテストに関し、動画やイラストを用いた容量の重いデータでの発表があったため、急遽それに対応できるようPCを購入したものであり、このPCがあったおかげで、政策アイデアコンテストは会場とZoomを使ったハイブリッドでの発表会が無事にできた。また、Zoomでの会議も滞りなくできたものと考えている。
- 8) 最後になるが、この見込みのとおりで推移したとなると、若干の予備費を使用することにはなるが、ほぼ何もできなかった昨年と比較した場合、総予算としては、ほぼ同額程度の予算で各部会が計画した事業は執行できる。

#### 【各委員からの意見・質問等】

(質問/尾原監事) 当初、予算建てしていなかったものが随分たくさん使用されている。昨年の社員総会でも言ったが、今回は例えば「多言語による情報発信」が予算額16万円に対して62万円使用しているが、これは見込んでいなかったという話を超えている。また、新規事業である「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」については予算額15万円に対して倍以上使用している。「投資活動支出(固定資産取得支出/什器備品購入支出)」のパソコン購入も、使ってうまくいったというのはわかるが、どうしてそれが見込めなかったのか、自分にはよくわからない。最後に、下から2行目の事業活動収入減額64万円が教員免許状更新講習・教員養成等事業の残額64万円と相殺するという説明がよくわからない。説明されてもよくわからないこの表がそれらしく見えている形というのはちょっとまずいんじゃないかと思う。説明で終わるのではなく、きちんと予算建てして、ちゃんと計画通りに進んで、例えば予算の何パーセントが使われて、科学研究費でも同じで、はじめ予算を組んでいて、その予算を超えてしまうと、ちゃんと理由を付けてこうして動かしますと言いますよね。予算の1.5倍~2倍使っていても説明で終わっているというのは、特にお金を扱っているので、これはとても大事なことだと思っている。これはもう少しきちんと管理してもらいたいと思うがいかがか。

(回答/事務局長) 管理ができていなかったと言われれば致し方ないと思っている。パソコン購入については「政策アイデアコンテスト」をどういうふうに行うか全く部会でも決めていない状態であり、内容が確定していない中で事業予算を計上する必要があり、15万円計上していたというのが正直なところである。全ての点を含めて精査ができていなかったというのはご指摘のとおりだと思う。

(質問/尾原監事) よくわかるが、だれがどういう風にして予算建てしているのか。

(回答/事務局長) 各部会の方で年度末に翌年度の予算についてこれでいいですかと了解をとったうえで理事会で審議していただくという形になっている。

(質問/尾原監事) そういう意味では部会に、こういう予算の立て方はまずいんだよ、ちゃんと言わないと次の年また同じことをやりますよね。リーフレットだって倍額以上ですよ。予算額16万円に対して62万円使用しているわけだから。それはちょっと部会が使ったから仕方ないで済むような問題かなと思うのですが。その辺はいかがか。

(回答/事務局長) 来月、全ての部会で来年度の予算をご審議いただく形になるので、

本日のご意見もご報告させていただき、来年度の予算建てをもう少しちゃんと精査して、企画・運営員会と理事会に諮りたいと思っている。

(議長) ご指摘ありがとうございます。予算と執行については、もう一回、各部会に徹底して、こういうことがあって、理事会でこういう意見も出たという事をお伝えしておく。

(質問/尾原監事) ありがとうございます。ただ2年も続けて同じことをやっているわけですね。これはお金を扱う、しかも法人なのだからきちんと管理しなくちゃいけないと思います。私、一応監事という立場で言わせてもらっているので、どうぞよろしくお願ひしたい。

(議長) 監事から指摘されたということで、必ず部会にお伝えする。

(意見/細江理事) 今のご意見に対してどのような対応ができるのか、ただ言っておきまですでは済まないような気がするので、今のようなオーバーするような場合には、かなりの金額だから、チェックして、最終的には了解をとるような形のものが、オンラインでもいいので、何か必要ではないかということで、ちょっと検討していただきたい、予算と執行についての一定の規律のような仕組みを考えていただきたい。

(議長) おっしゃるように普通はそういうものを考えなければならないので、予算をオーバーするかどうか途中でわかった時点で皆さんに許可を得るといったようなことをシステムとして考えていきたい。

ご指摘ありがとうございました。指摘されないと来年も同じような感じになりかねませんので、今度はオーバーする時点でちゃんと確認いたします。

(質問/尾原監事) 今のお話はわかるんですが、オーバーしたから言うのではなく、やはりどのくらいに、例えば予算組みをして予算の何割を変える必要が生じそうになった時にどういう手続きをして変えるとか、例えば予算の倍まで使うことが決して無いように、またそれをせざるを得ないようなことがある場合にはきちんとしたやり方をやってほしいと思う。ちょっと厳しいことを言いましたが、よろしくお願ひしたい。

(議長) やはり予算がオーバーしそうな段階で一応言ってもらう、そのようにしますので、来年は注意して見ていきたい。

(意見/甲斐理事) 私も今年度から企画・運営委員長を担当しているが、こういった事業の流れとか、大学コンソーシアムのオーガナイズの仕組みとか見てきて改善しなければならない所とかがあり、今までは何となく引き継いでこられたところがあるのだが、今回、事務局長の松村氏はかなり精査していただいており、中期目標、中期計画自体も大きく見直さなければいけないような内容があって、また先程言われた大学コンソーシアムの活動が、いわゆる各部会から上がってきたものに依存しているというか、各部会の活動が動いた予算がそのまま事務局に上がってくる、何となくトップダウンでなく組織的に大学コンソーシアムが今まであまり動いていなかったところもひとつの原因かなと今回1年間見てきて感じているところです。そういう観点から、予算の使い道だけではなくて、コンソーシアムのオーガナイズの仕方も含めて見直していけたらと思っている。

(議長) 私も当初はアクティブにやろうと思ったが、コロナ禍という状況の中でこうなってしまうと非常に申し訳ないと思っている。予算に関しても今後は各部会に

注意喚起しながらやっていきたいと思っている。また、甲斐理事が言われたトップダウンが出来なかったんですが、その辺も今後は完全にはできないが少し改めていきたいと思う。

(事務局長) 今後、先生方には早めに相談させていただきたい。

第3号報告 その他  
特になし

7 閉 会

議長から、当初はこのあと、懇親会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大による「まん延防止等重点措置」の適用を受け、残念ながら懇親会は中止とさせていただいた。機会があれば、また設定したいと思っているので、その際はぜひともご出席いただきますようよろしくお願いしたいとの発言があった。

以上で議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、代表理事（会長）及び出席監事は、署名押印する。

令和4年1月31日

一般社団法人大学コンソーシアム熊本第33回理事会

代表理事（会長）            小 川 久 雄

監 事                        尾 原 祐 三